

## 公述人19(会場②さいたま新都心合同庁舎)

### (意見の概要)

- ・近年の治水事業は、ダムの建設に偏っていて、その他の治水方法や技術開発が遅れてきたが、今回もその弊害をそのまま引きずっている。
- ・治水政策に関連して、近年新たに認められた洪水情報などが反映されていない。
- ・利根川の下流域で、江戸川左岸に住む松戸市民として数値のごまかし等心配。
- ・東京を水害から守るため、荒川・中川の水を江戸川に送り千葉県側に流すのではと疑問。
- ・この計画では、多様に関係する支流とその流域の事が不明。
- ・借金だらけの千葉県が多額の負担金を負うのではと心配。
- ・公共インフラの老朽化は、ダムや堤防においても逃れられない。
- ・河川整備計画で、何を優先としているかが良く分からない。